

4. 平成 18 年度に実施予定の事業

[1] 連携講座 「学校における実践的研究法（アクションリサーチ）」の実施

主催：広域大学間教員養成・研修コンソーシアム

実施責任大学：千葉大学

テ ー マ	学校における実践的研究法 (アクションリサーチ)	実施期間	平成 18 年 8 月 21・22・23 日
目 的	<p>各教師、各学校が、それぞれの教育課題を解決するために研究的実践・実践的研究を行う意欲と力量を育成し、向上し続ける教師、向上し続ける学校の形成を目指す。</p> <p>いわゆる「科学的・実験的」研究とアクションリサーチとの差異を認識し、教師個人が学級や教科で、あるいは学校全体で取り組む際の留意点等の理解を図る。</p>		
受講対象者	各学校の研究主任、教科主任 など	募集人員	50 名
実施会場	独立行政法人 教員研修センター 所在地：茨城県つくば市立原 3 番地		

< 講座内容 >

区分	日 程	テ ー マ と 担 当 講 師	研 修 方 法
第 1 日	8 月 21 日 (月) 12:30~14:30	アクションリサーチの勧め - アクションリサーチとは何か - 筑波大学大学院教授 大高 泉	講義・演習
	14:45~16:45	学習活動の改善を目指したアクションリサーチ - 発信をめざす英語活動・英語の事例 - 千葉大学教授 大井 恭子	講義・演習
第 2 日	8 月 22 日 (火) 9:30~11:30	指導法の改善を目指したアクションリサーチ - 算数・数学の事例を中心に - 筑波大学大学院助教授 清水 美憲	講義・演習
	12:30~14:30	教材改善・開発を目指したアクションリサーチ - 国語の事例 - 筑波大学大学院教授 桑原 隆	講義・演習
	14:45~16:45	授業実践研究としてのアクションリサーチの方法 東京学芸大学教授 浅沼 茂	講義・演習
第 3 日	8 月 23 日 (水) 9:30~11:30	指導法の改善を目指したアクションリサーチ 社会科の事例 筑波大学大学院教授 江口 勇治	講義・演習
	12:30~14:30	アクションリサーチによる学校臨床研究 - 不登校児を対象として - 千葉大学教授 保坂 亨	講義・演習

注 . 講座の最初と最後に簡単なセレモニーがあります。2/3 以上の出席者には修了証をお渡しします。

注 . 各講座のテーマや講座の順序については、多少の変更が生じることがあります。